

鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)

事務事業No.26-3

記入日 平成25年 5月27日

点検日 平成25年 5月31日

事務事業(予算)名	商工業振興に要する経費			作成課・係	商工業振興課商工業振興係										
政策名	3.3 活力ある産業を育成します			施策	3.3.2 魅力ある商業の育成	基本事業	3.3.2.1 個性と魅力ある個店・商店街の振興								
関連計画・根拠法令等	①鎌ヶ谷市総合基本計画 ②鎌ヶ谷市補助金等交付規則 ③鎌ヶ谷市補助金等交付要綱 ④鎌ヶ谷市商工業振興補助金交付基準														
事業区分	継続	前回総合評価	6.精査検証	実施計画掲載	無	行革推進対象	無	事業実施主体	3. 市	業開始年度	平成15年度以前	事業終了予定年度	平成33年度以降		
関連類似事業名								予算(款)		予算(項)		予算(目)	1	予算コード	0101

1. 事業の目的	(1)事業の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。※補助事業等の場合は負担金・補助金の支払先も記入)	対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)	データ出典
	商工会・商店会連合会・ドリームカード会 市内13商店会	①	①商店会等団体数	業務取得
		②		
		③		
(2) 事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順、詳細を記入)	活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)	データ出典	
商工業振興補助金 商工会が行う経営改善普及事業や各商店会が設置している街路灯などの設置やイベントなどの共同事業に対して補助金交付基準により補助する。	①	①補助金申請商店会等団体数	業務取得	
	②	②補助金対象事業件数	業務取得	
	③			
(3)事業の意図(対象をどのようにしたいのか。どう変えたいのか。※どんなサービスニーズに応えるかでも可)	成果指標 (基本事業成果指標等)	指標名称(意図の達成度を示す)	データ出典	
商店会等の実施する事業に補助することにより、商店会の育成及び商店街の活性化を図る。	①	①補助金交付額	業務取得	
	②			
	③			
(4)結果(どんな結果に結びつけるのか。※基本計画の施策の「めざす姿」との関わり)	施策成果指標	指標名称(結果の達成度を示す)	データ出典	
市民の利用が増え、商店街が賑わい、活力と魅力のあるまちの実現。	①	①年間商品販売額	千葉県商業統計調査	
	②	②小売業における売り場面積	千葉県商業統計調査	
	③			

2. コスト・実績の推移	年度	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度(年度) 今後の計画総額
			決算	決算	決算	決算見込み額	予算額	
(1)総事業費 自動計算		千円	32,307	23,908	20,948	20,492	24,627	0
	①国庫支出金	千円						
	②県支出金	千円	12000					
	③市債・その他財源	千円						
	④一般財源	千円	20307	23908	20948	20492	24627	
	(2)総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算	時間/年	2430	2450	2650	2880	2800	0
	①正職員(時間内)	時間/年	2300	2300	2300	2000	2800	
	②正職員(時間外)	時間/年	80	100	300	880		
	③非常勤職員	時間/年	50	50	50	0	0	

3. 指標の推移等	指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標年度(平成27年度) ※並目指標
	(1)対象指標	①	団体	16	15	15	16	16
②								
③								
(2)活動指標	①	団体	16	15	15	16	16	
	②	事業	44	42	42	46	46	
	③							
(3)成果指標 ※基本事業成果指標等	①	千円	19,833	31,350	19,450	32,045	20,057	
	②							
	③							
(4)施策成果指標	①	千万円	-	-	-	-	-	8,700
	②	m	-	-	-	-	-	90,400
	③							
(5)指標の推移に影響を与えるような外的要因はあるか。それは何か。								

4. 環境分析	(1)事業開始の背景・開始時の環境	昭和63年の各団体に交付していた各種補助金の整理に伴い、商工会や商店会の活性化及び育成のために設けられた。	(2)過去5年間で事業を取り巻く環境はどのように変わったか ※新規は記入不要	大型店や全国展開のチェーン店の進出等により、既存の商店会等は厳しい経営環境にある。
	(3)今後事業を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	今後も消費者ニーズの多様化や社会形態の変化等により、商店会等を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続くと予想される。	(4)事業について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見)	商店会等の活性化や育成についての要望がある。

5. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3: 高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？ 税収の確保及び、街の活性化のためには、商店会の振興を図る必要がある。
	(2)目的妥当性	3: 高い	(理由)事業の目的は上位の施策にどのように結びついているか。 商工会や商店会の事業に助成することで、活気と賑わいのあるまちの実現につながる。
	(3)公平性	3: 高い	(理由)対象は偏っていないか？ 必要となる対象を広げたり狭めたりできないか？ 商工会や市内全ての商店会を対象としており、公平性がある。
	(4)有効性	3: 高い	(理由)この事業を廃止した場合、施策達成に支障があるか。同じ目的を持つ他の事業はあるか？ さらに成果指標を伸ばせないか？ 市内商店会数の減少や各商店会の会員数が減少している状況からして、街路灯などの施設の維持管理のうえでも、市からの助成は欠かせないものである。
	(5)効率性	3: 高い	(理由)コストがかかりすぎているか？ 事業費、所要時間を縮減する手段・方法はないか？ 商工会や商店会の自立を図り、もって補助金の削減を図る。
	(6)総合評価	6: 精査・検証	(今後の方向内容) 補助金交付基準の精査・検証を行い、商工会や商店会の育成及び活性化を図っていく。

6. 改革・改善内容	(1)前回の事務事業評価で掲げた改革・改善内容	補助団体の実情を見極め、調整を図りながら、補助金の交付を行い、商店会等の活性化につなげる。
	(2)(1)に基づく取り組み結果	補助金の申請を行う際に、商店会毎の個々のイベント事業に対する事業効果等を明確にし、検証したうえで補助金の交付を行った。
	(3)平成25年度に取り組み改革・改善内容	補助団体の実情を見極め、調整を図りながら、補助金の交付を行い、商店会等の活性化につなげる。

※評価検討(1)~(5) 1: 低い、2: 普通、3: 高い、4: あてはまらない

※総合評価検討(6) 1: 終了、2: 廃止、3: 休止、4: 縮小、5: 改善、6: 精査・検証、7: 拡充

1 終了: 事業が完了したので、終了する

2 廃止: 事業を廃止する

3 休止: 再開を前提に休止する

4 縮小: 好ましくない状況なので、規模を縮小する

5 改善: 事業実施方法等について、改善した上、継続する

6 精査・検証: 業務手法等について精査・検証の上、継続する

7 拡充: 重点的に資源を配分し、規模を拡大する

鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)

事務事業No.26-7

記入日 平成25年 5月27日

点検日 平成25年 5月31日

事務事業(予算)名	観光振興に要する経費			作成課・係	高工振興課商工振興係											
政策名	3.3 活力ある産業を育成します			施策	3.3.2 魅力ある商業の育成	基本事業	3.3.2.3 観光の振興									
関連計画・根拠法令等	①鎌ヶ谷市総合基本計画 ②鎌ヶ谷市商工業振興補助金 ③鎌ヶ谷市ふるさと産品協会規約 ④															
事業区分	継続	前回総合評価	7.拡充	実施計画掲載	無	行革推進対象	無	事業実施主体	3.市	業開始年度	平成15年度以前	事業終了予定年度	平成33年度以降			
関連類似事業名								予算(款)		予算(項)		予算(目)		4	予算コード	0101

1. 事業の目的	(1)事業の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。※補助事業等の場合は負担金・補助金の支払先も記入)	対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)	データ出典
	鎌ヶ谷市ふるさと産品協会	①ふるさと産品協会会員数		住民基本台帳
		②		
		③		
(2)事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順、詳細を記入)	活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)	データ出典	
鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が行うふるさと産品の育成、普及、宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、市は補助金交付基準に基づき補助を行う。	①販売促進事業数		業務取得	
	②			
	③			
(3)事業の意図(対象をどのようにしたいのか。どう変えたいのか。※どんなサービスニーズに応えるかでも可)	(基本事業成果指標等)	指標名称(意図の達成度を示す)	データ出典	
鎌ヶ谷市ふるさと産品協会を支援することで、ふるさと産品の普及が促進される。	①補助金交付額		業務取得	
	②			
	③			
(4)結果(どんな結果に結びつけるのか。※基本計画の施策の「めざす姿」との関わり)	施策成果指標	指標名称(結果の達成度を示す)	データ出典	
ふるさと産品の普及を通じて、市の観光振興の実現につなげる。	①年間商品販売数		千葉県商業統計調査	
	②小売業における売り場面積		千葉県商業統計調査	
	③			

2. コスト・実績の推移	年度	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度(年度) 今後の計画総額
			決算	決算	決算	決算見込み額	予算額	
コスト・指標	(1)総事業費 自動計算	千円	384	761	999	632	1,342	0
	①国庫支出金	千円						
	②県支出金	千円						
	③市債・その他財源	千円						
	④一般財源	千円	384	761	999	632	1342	
	(2)総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算	時間/年	600	700	1000	1880	1800	0
	①正職員(時間内)	時間/年	600	700	1000	1100	1800	
	②正職員(時間外)	時間/年				780		
	③非常勤職員	時間/年				0	0	

3. 指標の推移等	指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標年度(平成27年度) ※並立目標値
	(1)対象指標	①	事業所	9	9	10	10	12
②								
③								
(2)活動指標	①	回数	4	4	5	4	6	
	②							
	③							
(3)成果指標 ※基本事業成果指標等	①	千円	336	380	150	255	289	
	②							
	③							
(4)施策成果指標	①	千円	-	-	-	-	-	8,700
	②	m	-	-	-	-	-	90,400
	③							
(5)指標の推移に影響を与えるような外的な要因はあるか。それは何か。								

4. 環境分析	(1)事業開始の背景・開始時の環境	昭和63年度にふるさと鎌ヶ谷を象徴するふるさと製品の普及を通じて、商工業の育成と観光事業の振興を図るために設けられた。	(2)過去5年間で事業を取り巻く環境はどのように変わったか ※新規は記入不要	観光立国の推進を目指し、平成20年に観光庁が新設されたほか、千葉県においても、ちばプロモーション協議会が設立され、毎年季節毎にキャンペーンイベントが開催されるなど、国・県等による観光に対する様々な取組みが実施されている。
	(3)今後事業を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	今後も国・県等により観光に対する様々な取組みが行われることが予想される。	(4)事業について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見)	市民や議会等から鎌ヶ谷市の個性を生かした新たな観光の育成が望まれている。

5. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3: 高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？ ふるさと製品の育成・普及を促進し、市の観光事業を推進するため。
	(2)目的妥当性	3: 高い	(理由)事業の目的は上位の施策にどのように結びついているか。 鎌ヶ谷市を象徴するふるさと製品を支援することで、市内外に市の情報が発信され、まちの活性化が実現する。
	(3)公平性	3: 高い	(理由)対象は偏っていないか？ 必要となる対象を広げたり狭めたりできないか？ 鎌ヶ谷市ふるさと製品協会は、市内で製造生産された様々な商品を対象とし、普及・宣伝を行っている。
	(4)有効性	3: 高い	(理由)この事業を廃止した場合、施策達成に支障があるか。同じ目的を持つ他の事業はあるか？ さらに成果指標を伸ばせないか？ 鎌ヶ谷市ふるさと製品協会の育成は、市の観光振興に効果的である。
	(5)効率性	3: 高い	(理由)コストがかかりすぎではないか？ 事業費、所要時間を削減する手段・方法はないか？ 今後、コストを増加させず、ふるさと製品の新たな認定等により、充実させていくことが可能である。
	(6)総合評価	7: 拡充	(今後の方向内容) ふるさと製品の普及促進及び鎌ヶ谷市観光ビジョンを通じて市内観光資源のPRを図る。

6. 改革・改善内容	(1)前回の事務事業評価で掲げた改革・改善内容	ふるさと製品パンフレット及び市観光ガイドマップ等により、市の観光のPRを図る。 また、観光ビジョンの策定に向けた策定委員会の開催やパブリックコメントの実施を行い、観光ビジョンを策定する。
	(2)(1)に基づく取り組み結果	ふるさと製品パンフレットを更新・作成し、また、観光ガイドマップを市外のイベントや情報発信ブースに配置して、市の観光PRを図った。 鎌ヶ谷市観光ビジョンの策定に向けた委員会を開催した。
	(3)平成25年度に取り組み改革・改善内容	鎌ヶ谷市観光ビジョンに掲げられた取組内容のうち、リーディングプロジェクトの速やかな実施に向けて対応を図る。 観光に特化したホームページやパンフレットを作成し、市の観光PRを図る。 市観光ガイドマップについては、内容等の更新及び印刷を行い、市の観光PRを図る。

※評価検討(1)~(5) 1: 低い、2: 普通、3: 高い、4: あてはまらない

※総合評価検討(6) 1: 終了、2: 廃止、3: 休止、4: 縮小、5: 改善、6: 精査・検証、7: 拡充

1 終了: 事業が完了したので、終了する

2 廃止: 事業を廃止する

3 休止: 再開を前提に休止する

4 縮小: 好ましくない状況なので、規模を縮小する

5 改善: 事業実施方法等について、改善した上、継続する

6 精査・検証: 業務手法等について精査・検証の上、継続

7 拡充: 重点的に資源を配分し、規模を拡大する